

令和5年度百石高等学校卒業証書授与式 祝辞

寒さも和らぎ、新たな季節の始まりが感じられる今日のよき日に、卒業を迎える皆さんの晴れの門出をお祝いできますことを、心から嬉しく思います。

令和5年度卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

また、これまで惜しみない愛情を持って育ててこられたご家族の皆様、今日という日を迎えられましたことを心からお喜び申し上げますとともに、こうして立派に巣立つ姿に感慨もひとしおのことと拝察申し上げます。

そして、熱意溢れる指導によって生徒を導いてこられた諸先生方の多大なるご尽力に、改めて感謝と敬意を表します。

卒業生の皆さん、3年間の高校生活はどのような日々であったでしょうか。友人と笑いあったこと、積み重ねてきた努力が実り喜んだこと、願いが叶わず涙したことなど、様々な思い出に彩られていることと思いますが、充実した学校生活であったのではないのでしょうか。

私も陰ながら皆さんの頑張りを応援しており、各メディアで「百石高等学校」の名前を耳にする度にその活躍ぶりに感心し、嬉しく感じております。昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したわけですが、それまで皆さんの学校生活は、部活動や校外活動など思うように過ごすことができないほか、常にマスクを着用していることで、お互いの顔が隠れ、寂しく感じたこともあったかと思います。そんな辛い状況の中でも、仲間と協力しながら二十歳の記念式典での料理提供をはじめ、こども食堂やフードパントリーなどでのボランティア活動、あるいはいちょうマラソン大会といったスポーツイベントへのスタッフ協力など、地元根差した活動や特色ある取り組みを続けてこられました。

また、2月27日に皆さんの後輩である一年生とフレッシュトークを行いました。高校生の皆さんだからこそ持つ発想力で、若い世代のご意見をいただき、とても参考になりました。町のために調べ、考えてくれたことに、皆さんが先輩として手本を示してくれた賜物であると感じ、大変嬉しく思っております。

皆さんが充実した高校生活を過ごすことができましたのも、ご家族、諸先生方、そして地域住民の方々の温かい眼差しとお力添えが大きな支えとなったものと思います。感謝の気持ちを忘れず、この3年間の自分の成長を大切に、これからは多くの方々を支える人になっていただきたいと思います。

これから皆さんは、社会人として第一歩を踏み出す方、進学し勉学に励まれる方など、それぞれの新しい道へ進んでいくものと思いますが、新しい環境に戸惑いを感じることもあるかもしれません。しかし、皆さんはこれまでも自身の力で乗り越え

できました。どんな険しい道であっても、自分を信じて挑戦して欲しいと思います。その経験がこれからの人生において大きな財産となるでしょう。百石高等学校の長い歴史を背負い巣立っていく皆さんは、御校の名を更に輝かせてくれることと期待しております。

結びに、大きな夢と希望を抱いて船出される皆さんのこれからの道に、豊かな実りと幸多からんことを祈念するとともに、ご参列の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和6年3月1日

おいらせ町長 成田 隆